

## 救助工作車が更新されました



令和3年1月に、高度救助隊が配置されている沼津北消防署の救助工作車Ⅲ型が更新されました。

更新された救助工作車は、『バス型救助工作車』を採用し、ボディ形状を一新しております。この『バス型救助工作車』は、後部座席スペースが広く、天井高を190cm確保しており、乗車隊員が後部座席で立ったままの状態でも、装備や資機材の準備が可能となるため、特殊な装備を必要とする事案においても、現場到着後の迅速な初動活動が期待されます。

また、駿東伊豆消防本部管内の災害だけでなく、日本国内で発生する大規模な災害に緊急消防援助隊として出動するため、様々な災害に対応できる各種救助資機材を積載しております。

住民の安全・安心のために日々訓練を重ね、新救助工作車の能力を最大限に活用してまいります。

### 【新救助工作車の概要】

- ・ 車 両 … バス型ワイドシングルハイルフキャブ 5.5 t 級シャシ
- ・ 乗車定員 … 5 人
- ・ 全 長 … 8,000 mm
- ・ 全 幅 … 2,360 mm
- ・ 全 高 … 3,190 mm

### 【主な搭載・配備資機材】

・ クレーン装置	・ マット型空気ジャッキ	・ 夜間用暗視装置
・ ウインチ装置	・ 水面活動用防水スーツ	・ 化学剤検知器 (LCD3.3)
・ 発電照明装置	・ 送排風機 (ラムファン)	・ 化学防護服
・ 油圧切断機	・ 地中音響探知機	・ 放射線防護服
・ 大型油圧スプレッダー	・ 地震警報器	・ 救命索発射銃
・ 油圧ジャッキ	・ 熱画像直視装置	・ ロープレスキュー資機材



【納車式】

左：管理者 頼重沼津市長 右：山本消防長



【訓練の様子】